

A <sup>してん おかた</sup>  
 視点の置き方

◆ <sup>ひかく</sup> <sup>かが</sup> <sup>しんりてき</sup> <sup>わしや</sup> <sup>ちか</sup> <sup>ほう</sup> <sup>してん</sup> <sup>お</sup>  
 比較して考えたときに、心理的に話者に近い方に視点を置きます。

わたし > いとこのみっちゃん > (わたしが住んでいる市の) 市長 > アメリカの大統領

例 ○ いとこのみっちゃんは市長にいい仕事を紹介してもらった。

(「みっちゃん」のほうが「市長」より心理的に書き手に近い。)

× 市長はいとこのみっちゃんにいい仕事を紹介してあげた。

○ 市長はアメリカの大統領にいい会場を用意してもらったそうだ。

(「市長」のほうが「アメリカの大統領」より心理的に書き手に近い。)

× アメリカの大統領は市長にいい会場を用意してあげたそうだ。

B 「～てもらう・～てくれる」を使うときの注意

◆ 「～てもらう・～てくれる」と「～られる(受身)」は主に「快・不快」で使い分けます。

形式	快・不快	例
～てもらう ～てくれる	快	きれいな服を着た日に、姉に写真を撮ってもらった。 毎朝、7時に電話で起こしてもらっている。 今日のコンサートでは懐かしい曲をたくさん聞かせてもらった。 お掃除ロボットは自動で部屋を掃除してくれる機械である。
～られる (受身)	不快	変な顔をしていたら、姉に写真を撮られた。 毎晩、赤ん坊の泣き声に起こされて、寝不足になる。 隣が音楽教室なので、下手なバイオリンを毎日聞かされる。 机の上を他人に勝手に掃除されたら気分が悪いだろう。

\* 受身文には中立的な意味のものもあります。

「名前を呼ばれたら、返事をしてください」→第3部6課

◆ 「～てもらう・～てくれる」がないと、動作の相手がわからないことがあります。

例 ? 田中さんが教えた歌は、アメリカの民謡だそうです。(だれに教えたかわからない。)

○ 田中さんに教えてもらった歌は、アメリカの民謡だそうです。(わたし(たち)に教えた。)

○ 田中さんが教えてくれた歌は、アメリカの民謡だそうです。(わたし(たち)に教えた。)

? 花子が書いた手紙を何度も読み返しています。(だれに書いたかわからない。)

○ 花子が書いてくれた手紙を何度も読み返しています。(わたしのために書いた。)



◆ 「～てもらう」と「～てくれる」は主語が違います。文章中に主語がはっきり表れない場合があるので注意が必要です。

例・事務室に行けば、申請書の書き方を教えてくださいますよ。教えてもらってから書いたほうがいいですよ。(事務室の人が教えてくれる。 わたしたちが教えてもらう。)

練習1 <sup>てきとう</sup> <sup>えら</sup>  
 適当なものを選びなさい。

- 兄は婚約者のゆき子さんが(a くれた b あげた c もらった)ネクタイをなくして大騒ぎしている。
- 田中部長はわたしの母にまで海外旅行のお土産を買ってきて(a くれた b あげた c もらった)。
- 君が説明書を(a 送った b 送ってくれた c 送ってあげた)ので助かりました。
- 昨日渡辺君が(a 見せた b 見せてくれた c 見せてもらった)書類に何が書いてあったか忘れてしまった。
- 山本さんがうちの祖母を花見に招待して(a くれた b あげた c もらった)。
- 道に迷ってしまった。通りかかったおばあさんに道を聞いたら、親切に教えて(a くれた b あげた c もらった)。
- 今日は美容院で、あまり好きではない形に髪を(① a 切ってくれた b 切ってもらった c 切られてしまった)。来月はカット代を節約するために、姉に髪を(② a 切ってもらう b 切ってあげる c 切られる)ことにしよう。
- 駅前のスーパーでは、買ったものをまとめて自宅に(① a 届ける b 届けてあげる c 届けてもらう)というサービスを始めた。わたしは週に1度、仕事の帰りにまとめ買いをして、(② a 届けて b 届けてあげて c 届けてもらって)いる。



練習2 適切なものを選びなさい。

- 1 この市には外国人相談室というのがある。何か問題があるとき、いろいろ相談に応じて(①a あげる b もらう c くれる)。先日、この相談室に行ってアパートの探し方を教えて(②a あげた b もらった c くれた)。中国語と英語と韓国語のコーナーがあって、話をちゃんと理解して(③a あげる b もらう c くれる)から心強い。友人にもこの相談室のことを教えて(④a あげよう b もらおう c くれよう)と思う。
- 2 同じクラスの山口さんは、校長先生に推薦書を書いて(①a あげて b もらって c くれて)、日本の高校生の代表として世界青少年平和会議に参加することになった。あの厳しい校長先生がよく推薦書を書いて(②a あげた b もらった c くれた)ものだと感心するが、山口さんにはそれだけのパワーがある。そのパワーを周りの人たちにも分けて(③a あげて b もらって c くれて)ほしい。
- 3 だれかに自分の気持ちを聞いて(①a あげる b もらう c くれる)ことは、精神安定剤のような効果がある。何の批判もされず、ただ聞いて(②a あげる b もらう c くれる)だけで人は心が安定してくるものだ。相手がときどき軽くあいづちを打って(③a あげれば b もらえば c くれれば)、さらに話しやすい。そういう思いがあって、わたしはほかの人の話を一生懸命聞いて(④a あげる b もらう c くれる)ように心がけている。
- 4 年をとった母のために役所へ行って老人ホームへの入所を相談したら、係の人が丁寧に説明して(①a あげた b もらった c くれた)。「市内に何か所か施設がありますから、お母さんを案内して(②a あげて b もらって c くれて)ください。お母さん自身が一番いいと思う所を探して(③a あげる b もらう c くれる)のがいいですよ。」と言われた。そうだ。最終的には母に決めて(④a あげる b もらう c くれる)のがいいのだ。
- 5 近くの公園内のベンチが壊れているので早く直して(①a あげたい b もらいたい c くれたい)と思って、役所に電話で(②a 連絡した b 連絡してあげた c 連絡してもらった)。係の人は一応話を聞いて(③a あげたが b もらったが c くれたが)、何日待っても直しに来て(④a あげない b くれぬ c もらわぬ)。住民の要求にもつと早く(⑤a 応じてほしい b 応じてあげてほしい c 応じてくれてほしい)。

まとめ 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、□1 から □5 の中に入る最もよいものを1・2・3・4から1つ選びなさい。

このあいだ、大きな葬儀社(注)の社長さんと話す機会があった。とてもやさしくあたたかみのあるその社長さんは、おもしろい話を □1。「最近、うちの会社に就職したいという若者が増えているんですよ。就職難ということもあるでしょうけれど、どうもそれだけではないようです。別の企業に合格したのに、どうしても葬儀社に、と希望して来る人もいます」「若者たちは、これまで地味な仕事と □2 葬儀社に、どうして就職したがるのだろうか？」私がそう質問すると、社長さんは □3。「それは、私たちの仕事人が人を助け、感謝される仕事だからです。今の世の中、直接お客さんから“ありがとう、おかげで助かりました”と □4 仕事は、なかなかないでしょう？」

たしかにそうだ。ふつうの会社や役所につとめても、自分のした仕事が直接、だれかを救うという機会はまずない。私も大学で授業していて、学生に「先生、いいこと教えてくれてありがとう」なんて □5 ことはない。病院では「ありがとう」と言われる場面もあるけれど、「ぜんぜんよくなりません」と苦情を言われることもけっこうある。

(香山リカ『10代のうちに考えておくこと』岩波ジュニア新書による)

(注) 葬儀社：葬式の手伝いをする会社

- 1  
1 聞いてくれた      2 聞いてもらった      3 聞かせてくれた      4 聞かせてもらった
- 2  
1 思わされた      2 思われてきた  
3 思ってもらっていた      4 思ってもらってきた
- 3  
1 答えてくれた      2 答えさせてくれた  
3 答えてあげた      4 答えさせてあげた
- 4  
1 言ってくれる      2 言ってもらえる  
3 言わせてくれる      4 言わせてもらえる
- 5  
1 言われた      2 言われた      3 言ってあげた      4 言ってくれた